

資料編 環境モニタリング（底質）－平成 23 年 12 月 7 日採取分

---

計量証明書（ダイオキシン類）  
計量証明書（その他・W-5）  
計量証明書（その他・W-4, 12, 13）  
分析結果報告書（粒度組成）



# 計量証明書

猪名川上流広域ごみ処理施設組合  
管理者 大塩 民生 様

件名:

平成 23 年度環境影響評価事後調査業務委託

発行番号: DS120018 (1/2)

受付番号: 1 1 - 3 0 7 5

発行年月日: 平成 24 年 1 月 27 日

認定番号: N 10038 - 02

登録番号: 広島県第 11 - 6 号

事業者: 中外テクノス株式会社

事業所: 中外テクノス株式会社 環境事業本部

所在地: 広島市西区横川新町9番12号

TEL:(082)295-2237 FAX:(082)295-2262

計量管理者 後藤 壽久  
(環境計量士)



ご依頼による濃度に係る計量結果を、下記のとおり証明致します。

試料の種類	底質	採取年月日	平成 23 年 12 月 7 日	
採取場所	兵庫県川西市	個数	1	

計量の対象	計量の方法	計量の結果
ダイオキシン類濃度	「ダイオキシン類に係る底質調査測定マニュアル」 (平成 21 年 3 月) 環境省水・大気環境局水環境課	試料名: W-5 実測濃度 4300 pg/g 毒性等量 16 pg-TEQ/g

特記事項
*****

計量証明事業の工程の一部を外部の者に行わせた場合にあつては、当該工程の具体的内容、当該工程を実施した事業者の氏名又は名称及び事業者の所在地
*****

計量証明にかかわらない事項
・毒性等量は、計量法第 107 条に基づく計量証明の対象外です。
・持込試料 試料採取事業者: 中外テクノス株式会社 関西技術センター 事業者の所在地: 神戸市西区井吹台東町7丁目3-7

この計量証明書の一部分を複製することを禁じます。

# ダイオキシン類分析結果

試料管理番号: K414-1

発行番号: DS120018 (2/2)

試料名: W-5		試料採取日: 平成23年12月7日				
		実測濃度	試料における 定量下限	試料における 検出下限	毒性等価 係数 TEF	毒性等量
		pg/g	pg/g	pg/g		pg-TEQ/g
PCDDs	1,3,6,8-TeCDD	720	0.09	0.03	0	0
	1,3,7,9-TeCDD	240	0.09	0.03	0	0
	2,3,7,8-TeCDD	0.37	0.09	0.03	1	0.37
	TeCDDs	990	-	-	-	-
	1,2,3,7,8-PeCDD	3.0	0.08	0.02	1	3
	PeCDDs	170	-	-	-	-
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	3.7	0.18	0.05	0.1	0.37
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	7.8	0.23	0.07	0.1	0.78
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	6.2	0.14	0.04	0.1	0.62
	HxCDDs	97	-	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	130	0.4	0.1	0.01	1.3
	HpCDDs	270	-	-	-	-
	OCDD	1500	0.7	0.2	0.0003	0.45
	Total PCDDs	3000	-	-	-	6.9
PCDFs	1,2,7,8-TeCDF	3.8	0.10	0.03	0	0
	2,3,7,8-TeCDF	2.8	0.10	0.03	0.1	0.28
	TeCDFs	130	-	-	-	-
	1,2,3,7,8 + 1,2,3,4,8-PeCDF	10	0.09	0.03	0.03	0.3
	2,3,4,7,8-PeCDF	8.4	0.16	0.05	0.3	2.52
	PeCDFs	150	-	-	-	-
	1,2,3,4,7,8 + 1,2,3,4,7,9-HxCDF	14	0.16	0.05	0.1	1.4
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	14	0.12	0.04	0.1	1.4
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	0.75	0.20	0.06	0.1	0.075
	2,3,4,6,7,8-HxCDF	14	0.18	0.05	0.1	1.4
	HxCDFs	160	-	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	69	0.3	0.1	0.01	0.69
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	7.2	0.31	0.09	0.01	0.072
	HpCDFs	140	-	-	-	-
OCDF	78	0.24	0.07	0.0003	0.0234	
Total PCDFs	660	-	-	-	8.2	
Total (PCDDs + PCDFs)		3600	-	-	-	15
DL-PCBs	3,4,4',5'-TeCB(#81)	3.3	0.21	0.06	0.0003	0.00099
	3,3',4,4'-TeCB(#77)	32	0.27	0.08	0.0001	0.0032
	3,3',4,4',5'-PeCB(#126)	9.4	0.19	0.06	0.1	0.94
	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	2.9	0.24	0.07	0.03	0.087
	Non-ortho PCBs	48	-	-	-	1.0
	2',3,4,4',5'-PeCB(#123)	7.9	0.21	0.06	0.00003	0.000237
	2,3',4,4',5'-PeCB(#118)	330	0.21	0.06	0.00003	0.0099
	2,3,3',4,4'-PeCB(#105)	160	0.27	0.08	0.00003	0.0048
	2,3,4,4',5'-PeCB(#114)	7.6	0.29	0.09	0.00003	0.000228
	2,3',4,4',5,5'-HxCB(#167)	23	0.21	0.06	0.00003	0.00069
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#156)	54	0.22	0.07	0.00003	0.00162
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)	16	0.20	0.06	0.00003	0.00048
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	5.2	0.17	0.05	0.00003	0.000156
	Mono-ortho PCBs	590	-	-	-	0.018
Total DL-PCBs		640	-	-	-	1.0
Total (PCDDs + PCDFs + DL-PCBs)		4300	-	-	-	16

- 備考 1. 実測濃度中の括弧付の数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。  
 2. 実測濃度中の“ND”は、検出下限未満であることを示す。  
 3. 毒性等価係数は、WHO/IPCS(2006)のTEFを適用した。  
 4. 毒性等量(TEQ)は、定量下限未満検出下限値以上の数値はそのままの値を用い、検出下限未満の数値は検出下限の1/2の値を用いて算出した。



# 計 量 証 明 書



猪名川上流広域ごみ処理施設組合 御中  
件 名

証明番号： L12-0097  
受付番号： K11-101513  
平成 24 年 1 月 18 日 発行

平成 23 年 度  
環境影響評価事後調査業務委託

事業者：中外テクノス株式会社  
広島市西区横川新町9番12号  
事業所：中外テクノス株式会社  
関西技術センター  
神戸市西区井吹台東町7丁目3-7  
TEL. 078-997-8000

登録番号：計証第濃35号

環境計量士：大前 正明

分析室 室長：松本 茂之

貴依頼による計量の結果を、下記のとおり証明いたします。

採取年月日	個数	受付年月日	備考
平成23年12月7日	1	平成23年12月7日	採取場所：兵庫県川西市 試料採取：当社

計量の対象及び単位		計量の結果		計量の単位	計量の単位
(分析項目)	単位	W-5	定量下限		
※含水比	%	81.2	—	—	土質試験法 第2編第3章3.2.1
硫化物	mg/g	検出せず	0.05	—	底質調査方法II 17
強熱減量	%	11.4	0.1	—	底質調査方法II 4
化学的酸素要求量	mg/g	57.5	0.5	—	底質調査方法II 20
アルキル水銀化合物	mg/kg	検出せず	0.01	—	底質調査方法II 5.2
全窒素	mg/g	3.45	0.01	—	底質調査方法II 18
全りん	mg/g	1.17	0.01	—	底質調査方法II 19.1
鉛	mg/kg	27	5	—	底質調査方法II 7.1 準拠
カドミウム	mg/kg	1.4	0.5	—	底質調査方法II 6.1 準拠
総水銀	mg/kg	0.07	0.01	—	底質調査方法II 5.1.2
ひ素	mg/kg	14	0.5	—	底質調査方法II 13.2
六価クロム	mg/kg	検出せず	2	—	底質調査方法II 12.3.1
総クロム	mg/kg	57	1	—	底質調査方法II 12.1.2 準拠
銅含有量	mg/kg	96	1	—	底質調査方法II 8.1 準拠
亜鉛含有量	mg/kg	320	1	—	底質調査方法II 9.1 準拠
シアン化合物	mg/kg	検出せず	0.5	—	底質調査方法II 14.1
ポリ塩素化ビフェニル	mg/kg	検出せず	0.01	—	底質調査方法II 15
水素イオン濃度	—	7.0 (19°C)	—	—	ガラス電極法
※酸化還元電位	mV	-137	—	—	河川水質試験方法(案) 6
リン酸性リン	mg/g	0.039	0.005	—	土壤環境分析法 第V章12
アンモニア性窒素	mg/g	0.045	0.001	—	土壤環境分析法 第V章9.B
硝酸性窒素	mg/g	0.007	0.001	—	土壤環境分析法 第V章9.D
亜硝酸性窒素	mg/g	検出せず	0.001	—	土壤環境分析法 第V章9.C

計量証明の事業の工程の一部を外部の者に行わせた場合にあつては、当該工程の具体的内容、当該工程を実施した事業者の氏名又は名称及び事業者の所在地

\*\*\*

## 計量証明にかかわらない事項

※は濃度計量証明対象外の項目である。

備考)・土質試験法(地盤工学会：平成12年)

・底質調査方法(社団法人日本環境測定分析協会：環境庁水質保全局水質管理課 編：1988年改訂版)

・河川水質試験方法(案)(建設省：1997年)

・土壤環境分析法(土壤環境分析法編集委員会：1997年)

・「検出せず」とは定量下限未満の値のことである。



# 計 量 証 明 書



猪名川上流広域ごみ処理施設組合 御中  
件 名

平成 23 年 度  
環境影響評価事後調査業務委託

証明番号： L12-0098

受付番号： K11-101513

平成 24 年 1 月 18 日 発行

事 業 者：中外テクノス株式会社  
広島市西区横川新町9番12号

事 業 所：中外テクノス株式会社  
関西技術センター  
神戸市西区井吹台東町7丁目3-7  
TEL. 078-997-8000

登 録 番 号：計証第濃35号

環 境 計 量 士：大 前 正 明

分 析 室 室 長：松 本 茂 之



貴依頼による計量の結果を、下記のとおり証明いたします。

採取年月日	個数	受付年月日	備 考
平成23年12月7日	3	平成23年12月7日	採取場所：兵庫県川西市 試料採取：当 社

計量の対象及び単位		計 量 の 結 果			定量下限	計 量 の 方 法
(分析項目)	単 位	W-4	W-12	W-13		
鉛	mg/kg	50	16	50	5	底質調査方法Ⅱ 7.1 準拠
カドミウム	mg/kg	1.6	0.7	1.0	0.5	底質調査方法Ⅱ 6.1 準拠
ひ素	mg/kg	18	6.3	5.5	0.5	底質調査方法Ⅱ 13.2
銅含有量	mg/kg	110	60	44	1	底質調査方法Ⅱ 8.1 準拠
亜鉛含有量	mg/kg	360	160	220	1	底質調査方法Ⅱ 9.1 準拠
以下余白						

計量証明の事業の工程の一部を外部の者に行わせた場合にあつては、当該工程の具体的内容、当該工程を実施した事業者の氏名又は名称及び事業者の所在地

\*\*\*

### 計量証明にかかわらない事項

※は濃度計量証明対象外の項目である。

備考)・底質調査方法(社団法人日本環境測定分析協会：環境庁水質保全局水質管理課 編：1988年改訂版)  
・「検出せず」とは定量下限未満の値のことである。

# 分析結果報告書

受付番号：K11-101513

平成 24 年 1 月 18 日 発行

猪名川上流広域ごみ処理施設組合 御中  
件名

平成 23 年 度  
環境影響評価事後調査業務委託  
( 粒 度 組 成 )

計量証明事業登録番号  
計証第濃35号

中外テック株式会社  
関西技術センター  
神戸市西区井吹合東町7丁目3-7  
Tel. 078-997-8000



分析室 室長：松本茂之

数量	1	備考	受付日：平成 23 年 12 月 7 日 試料採取： 当 社
----	---	----	-----------------------------------

分 析 項 目	試料名	W-5	分 析 方 法
	単 位		
粗礫分	%	0.0	土質試験法 第3編第5章5.2
中礫分	%	0.0	
細礫分	%	0.0	
粗砂分	%	0.4	
中砂分	%	2.3	
細砂分	%	36.4	
シルト分	%	47.5	
粘土分	%	13.4	
		以下余白	

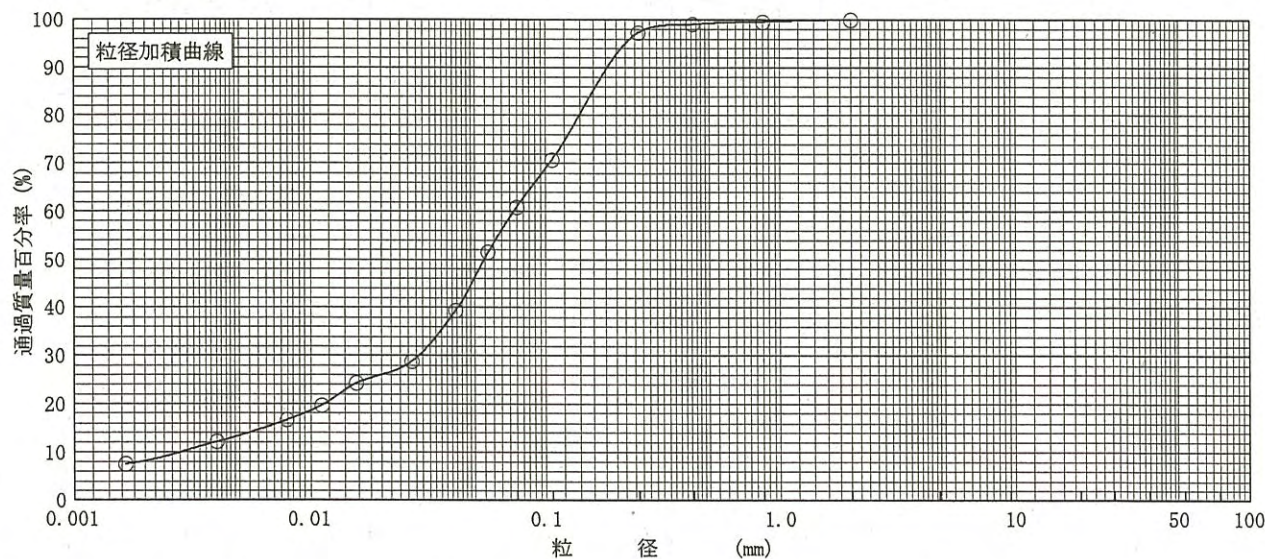
# 土の粒度試験 (粒径加積曲線)

調査件名

試験年月日

試験者

試料番号 (深さ)	W-5				試料番号 (深さ)		W-5
	粒径 mm	通過質量百分率 %	粒径 mm	通過質量百分率 %	粗礫分 %		0.0
ふるい 分析	75		75		中礫分 %		0.0
	53		53		細礫分 %		0.0
	37.5		37.5		粗砂分 %		0.4
	26.5		26.5		中砂分 %		2.3
	19		19		細砂分 %		36.4
	9.5		9.5		シルト分 %		47.5
	4.75		4.75		粘土分 %		13.4
	2	100.0	2		2mm ふるい通過質量百分率 %		100.0
	0.850	99.6	0.850		425 $\mu$ m ふるい通過質量百分率 %		99.0
	0.425	99.0	0.425		75 $\mu$ m ふるい通過質量百分率 %		60.9
	0.250	97.3	0.250		最大粒径 mm		2.00
	0.106	70.7	0.106		60 % 粒径 $D_{60}$ mm		0.0729
	0.075	60.9	0.075		50 % 粒径 $D_{50}$ mm		0.0545
	沈降 分析	0.0569	51.6			30 % 粒径 $D_{30}$ mm	
0.0414		39.4			10 % 粒径 $D_{10}$ mm		0.00281
0.0268		28.8			均等係数 $U_c$		25.9
0.0156		24.3			曲率係数 $U_c'$		4.02
0.0112		19.7			土粒子の密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>		2.510
0.00795		16.7			使用した分散剤		ヘキサリン酸トリウム 飽和溶液 10.0ml
0.00401		12.1			溶液濃度、溶液添加量		
0.00165	7.6						



粘土      シルト      細砂      中砂      粗砂      細礫      中礫      粗礫

特記事項  
 礫分0.0% 粗砂分0.4% 中砂分2.3% 細砂分36.4% シルト・粘土分60.9%

資料編 環境モニタリング（底質）－平成 24 年 2 月 17 日採取分

---

- 計量証明書（ダイオキシン類）
- 計量証明書（その他・W-5）
- 計量証明書（その他・W-4, 12, 13）
- 分析結果報告書（粒度組成）





# 計量証明書

発行番号: DS120062 (1/2)

受付番号: 11 - 5221

発行年月日: 平成24年3月24日

猪名川上流広域ごみ処理施設組合  
管理者 大塩 民生 様

件名:

平成23年度環境影響評価事後調査業務委託

認定番号: N 0038 - 02

登録番号: 広島県第T-6号

事業者: 中外テクノス株式会社

事業所: 中外テクノス株式会社 環境事業本部

所在地: 広島市西区横川新町9番12号

TEL:(082)295-2237 FAX:(082)295-2262

計量管理者 後藤 寿久  
(環境計量士)



ご依頼による濃度に係る計量結果を、下記のとおり証明致します。

試料の種類	底質	採取年月日	平成24年2月17日	
採取場所	兵庫県川西市	個数	1	

計量の対象	計量の方法	計量の結果
ダイオキシン類濃度	「ダイオキシン類に係る底質調査測定マニュアル」 (平成21年3月) 環境省水・大気環境局水環境課	試料名: W-5 実測濃度 3900 pg/g 毒性等量 9.9 pg-TEQ/g

特記事項
*****

計量証明事業の工程の一部を外部の者に行わせた場合にあつては、当該工程の具体的内容、当該工程を実施した事業者の氏名又は名称及び事業者の所在地
*****

計量証明にかかわらない事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>・毒性等量は、計量法第107条に基づく計量証明の対象外です。</li> <li>・持込試料 試料採取事業者: 中外テクノス株式会社 関西技術センター 事業者の所在地: 神戸市西区井吹台東町7丁目3-7</li> </ul>

この計量証明書の一部分を複製することを禁じます。

# ダイオキシン類分析結果

試料管理番号: K840-1

発行番号: DS120062 (2/2)

試料名: W-5		試料採取日: 平成24年2月17日				
		実測濃度	試料における 定量下限	試料における 検出下限	毒性等価 係数 TEF	毒性等量 pg-TEQ/g
		pg/g	pg/g	pg/g		
PCDDs	1,3,6,8-TeCDD	750	0.09	0.03	0	0
	1,3,7,9-TeCDD	280	0.09	0.03	0	0
	2,3,7,8-TeCDD	0.20	0.09	0.03	1	0.2
	TeCDDs	1100	-	-	-	-
	1,2,3,7,8-PeCDD	1.8	0.07	0.02	1	1.8
	PeCDDs	150	-	-	-	-
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	2.5	0.18	0.05	0.1	0.25
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	5.8	0.22	0.07	0.1	0.58
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	4.5	0.14	0.04	0.1	0.45
	HxCDDs	74	-	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	120	0.4	0.1	0.01	1.2
	HpCDDs	230	-	-	-	-
	OCDD	1300	0.6	0.2	0.0003	0.39
	Total PCDDs	2800	-	-	-	4.9
PCDFs	1,2,7,8-TeCDF	2.7	0.09	0.03	0	0
	2,3,7,8-TeCDF	2.1	0.09	0.03	0.1	0.21
	TeCDFs	99	-	-	-	-
	1,2,3,7,8 + 1,2,3,4,8-PeCDF	4.4	0.08	0.02	0.03	0.132
	2,3,4,7,8-PeCDF	3.9	0.15	0.04	0.3	1.17
	PeCDFs	73	-	-	-	-
	1,2,3,4,7,8 + 1,2,3,4,7,9-HxCDF	6.2	0.16	0.05	0.1	0.62
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	5.4	0.12	0.03	0.1	0.54
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	0.55	0.19	0.06	0.1	0.055
	2,3,4,6,7,8-HxCDF	8.8	0.17	0.05	0.1	0.88
	HxCDFs	73	-	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	43	0.31	0.09	0.01	0.43
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	6.7	0.29	0.09	0.01	0.067
	HpCDFs	100	-	-	-	-
	OCDF	72	0.23	0.07	0.0003	0.0216
Total PCDFs	420	-	-	-	4.1	
Total (PCDDs + PCDFs)		3200	-	-	-	9.0
DL-PCBs	3,4,4',5-TeCB(#81)	2.9	0.20	0.06	0.0003	0.00087
	3,3',4,4'-TeCB(#77)	31	0.26	0.08	0.0001	0.0031
	3,3',4,4',5-PeCB(#126)	7.8	0.18	0.05	0.1	0.78
	3,3',4,4',5,5'-HxCB(#169)	2.3	0.23	0.07	0.03	0.069
	Non-ortho PCBs	44	-	-	-	0.85
	2',3,4,4',5-PeCB(#123)	9.0	0.20	0.06	0.00003	0.00027
	2,3',4,4',5-PeCB(#118)	360	0.20	0.06	0.00003	0.0108
	2,3,3',4,4'-PeCB(#105)	180	0.26	0.08	0.00003	0.0054
	2,3,4,4',5-PeCB(#114)	8.3	0.28	0.08	0.00003	0.000249
	2,3',4,4',5,5'-HxCB(#167)	27	0.20	0.06	0.00003	0.00081
	2,3,3',4,4',5-HxCB(#156)	64	0.21	0.06	0.00003	0.00192
	2,3,3',4,4',5'-HxCB(#157)	20	0.19	0.06	0.00003	0.0006
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB(#189)	5.1	0.16	0.05	0.00003	0.000153
	Mono-ortho PCBs	670	-	-	-	0.020
Total DL-PCBs		710	-	-	-	0.87
Total (PCDDs + PCDFs + DL-PCBs)		3900	-	-	-	9.9

- 備考 1. 実測濃度中の括弧付の数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。  
 2. 実測濃度中の“ND”は、検出下限未満であることを示す。  
 3. 毒性等価係数は、WHO/IPCS(2006)のTEFを適用した。  
 4. 毒性等量(TEQ)は、定量下限未満検出下限値以上の数値はそのままの値を用い、検出下限未満の数値は検出下限の1/2の値を用いて算出した。



# 計 量 証 明 書



猪名川上流広域ごみ処理施設組合 御中  
件 名

証明番号： L12-0748

受付番号： K11-102775

平成 24 年 3 月 19 日 発行

平 成 23 年 度  
環 境 影 響 評 価 事 後 調 査 業 務 委 託

事 業 者：中外テクノス株式会社  
広島市西区横川新町9番12号

事 業 所：中外テクノス株式会社  
関西技術センター  
神戸市西区井吹台東町7丁目3-7  
TEL. 078-997-8000

登 録 番 号：計証第濃35号

環 境 計 量 士：大 前 正 明

分 析 室 室 長：松 本 茂 之

貴依頼による計量の結果を、下記のとおり証明いたします。

採取年月日	個数	受付年月日	備 考
平成24年2月17日	1	平成24年2月17日	採取場所：兵庫県川西市 試料採取：当 社

計量の対象及び単位		計量の結果		計 量 の 方 法
( 分 析 項 目 )	単 位	W-5	定量下限	
※含水比	%	141	—	土質試験法 第2編第3章3.2.1
硫化物	mg/g	0.07	0.05	底質調査方法Ⅱ 17
強熱減量	%	16.5	0.1	底質調査方法Ⅱ 4
化学的酸素要求量	mg/g	71.7	0.5	底質調査方法Ⅱ 20
アルキル水銀化合物	mg/kg	検出せず	0.01	底質調査方法Ⅱ 5.2
全窒素	mg/g	4.97	0.01	底質調査方法Ⅱ 18
全りん	mg/g	1.18	0.01	底質調査方法Ⅱ 19.1
鉛	mg/kg	32	5	底質調査方法Ⅱ 7.1 準拠
カドミウム	mg/kg	1.5	0.5	底質調査方法Ⅱ 6.1 準拠
総水銀	mg/kg	0.07	0.01	底質調査方法Ⅱ 5.1.2
ひ素	mg/kg	12	0.5	底質調査方法Ⅱ 13.2
六価クロム	mg/kg	検出せず	2	底質調査方法Ⅱ 12.3.1
総クロム	mg/kg	55	1	底質調査方法Ⅱ 12.1.2準拠
銅含有量	mg/kg	86	1	底質調査方法Ⅱ 8.1 準拠
亜鉛含有量	mg/kg	290	1	底質調査方法Ⅱ 9.1 準拠
シアン化合物	mg/kg	検出せず	0.5	底質調査方法Ⅱ 14.1
ポリ塩素化ビフェニル	mg/kg	検出せず	0.01	底質調査方法Ⅱ 15
水素イオン濃度	—	6.9 (17℃)	—	ガラス電極法
※酸化還元電位	mV	-91	—	河川水質試験方法(案) 6
リン酸性リン	mg/g	検出せず	0.005	土壤環境分析法 第V章12
アンモニア性窒素	mg/g	0.073	0.001	土壤環境分析法 第V章9. B
硝酸性窒素	mg/g	0.16	0.001	土壤環境分析法 第V章9. D
亜硝酸性窒素	mg/g	検出せず	0.001	土壤環境分析法 第V章9. C

計量証明の事業の工程の一部を外部の者に行わせた場合にあっては、当該工程の具体的内容、当該工程を実施した事業者の氏名又は名称及び事業者の所在地

\*\*\*

### 計量証明にかかわらない事項

※は濃度計量証明対象外の項目である。

備考) ・土質試験法(地盤工学会：平成12年)

・底質調査方法(社団法人日本環境測定分析協会：環境庁水質保全局水質管理課 編：1988年改訂版)

・河川水質試験方法(案)(建設省：1997年)

・土壤環境分析法(土壤環境分析法編集委員会：1997年)

・「検出せず」とは定量下限未満の値のことである。



# 計 量 証 明 書



猪名川上流広域ごみ処理施設組合 御中  
件 名

証明番号： L12-0749

受付番号： K11-102775

平成 24 年 3 月 19 日 発行

平 成 23 年 度  
環 境 影 響 評 価 事 後 調 査 業 務 委 託

事 業 者：中外テクノス株式会社  
広島市西区横川新町9番12号

事 業 所：中外テクノス株式会社  
関西技術センター  
神戸市西区井吹台東町7丁目3-7  
TEL. 078-997-8000

登 録 番 号：計証第濃35号

環 境 計 量 士：大 前 正 明

分 析 室 室 長：松 本 茂 之



貴依頼による計量の結果を、下記のとおり証明いたします。

採取年月日	個数	受付年月日	備 考
平成24年2月17日	3	平成24年2月17日	採取場所：兵庫県川西市 試料採取：当 社

計量の対象及び単位		計 量 の 結 果			定量下限	計 量 の 方 法
(分析項目)	単 位	W-4	W-12	W-13		
鉛	mg/kg	35	22	47	5	底質調査方法Ⅱ 7.1 準拠
カドミウム	mg/kg	1.5	0.7	1.0	0.5	底質調査方法Ⅱ 6.1 準拠
ひ素	mg/kg	13	14	6.5	0.5	底質調査方法Ⅱ 13.2
銅含有量	mg/kg	80	55	44	1	底質調査方法Ⅱ 8.1 準拠
亜鉛含有量	mg/kg	260	160	230	1	底質調査方法Ⅱ 9.1 準拠
		以下余白				

計量証明の事業の工程の一部を外部の者に行わせた場合にあつては、当該工程の具体的内容、当該工程を実施した事業者の氏名又は名称及び事業者の所在地

\*\*\*

計量証明にかかわらない事項

\*\*\*

備考)・底質調査方法(社団法人日本環境測定分析協会：環境庁水質保全局水質管理課 編：1988年改訂版)

# 分析結果報告書

受付番号：K11-102775

平成 24 年 3 月 19 日 発行

猪名川上流広域ごみ処理施設組合 御中  
件名

平成 23 年 度  
環境影響評価事後調査業務委託  
( 粒 度 組 成 )

計量証明事業登録番号  
計証第濃35号

中外テック株式会社  
関西技術センター  
神戸市西区井吹台東町7丁目3-7  
Tel. 078-997-8000



分析室 室長： 松本 茂之

数量	1	備考	受付日：平成 24年 2月 17日 試料採取： 当 社
----	---	----	--------------------------------

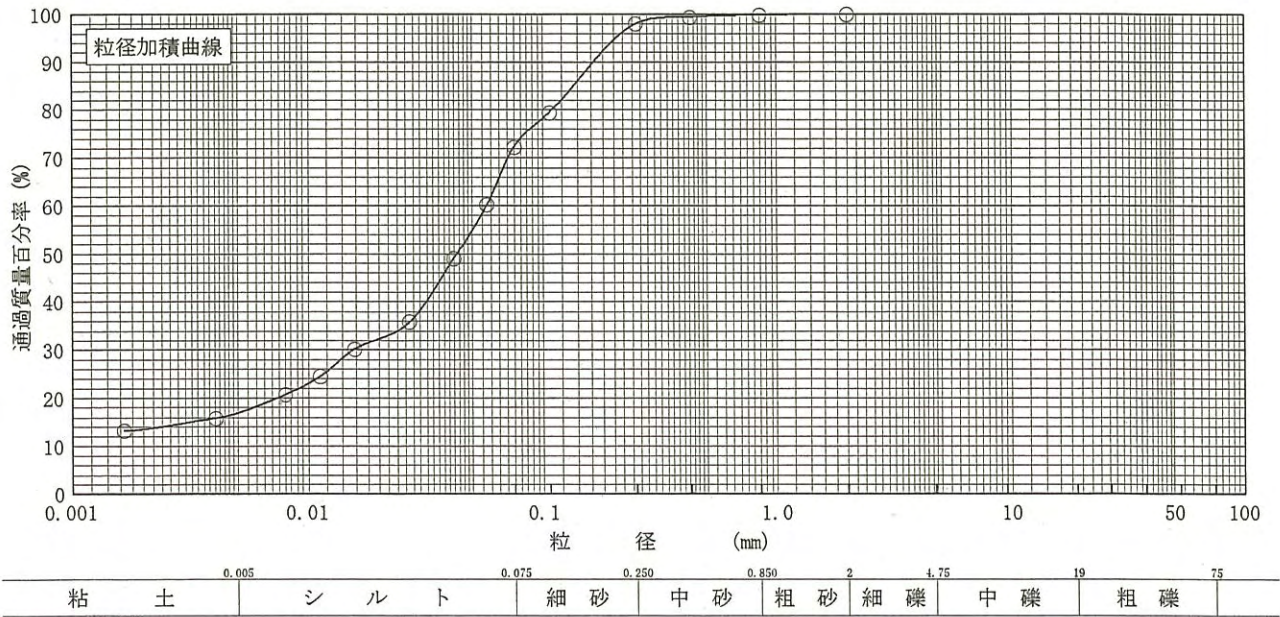
分 析 項 目	試料名	W-5	分 析 方 法
	単 位		
粗礫分	%	0.0	土質試験法 第3編第5章5.2
中礫分	%	0.0	
細礫分	%	0.0	
粗砂分	%	0.2	
中砂分	%	1.8	
細砂分	%	25.7	
シルト分	%	55.4	
粘土分	%	16.9	
		以下余白	

調査件名

試験年月日

試験者

試料番号 (深さ)	W-5				試料番号 (深さ)		W-5
	粒径 mm	通過質量百分率 %	粒径 mm	通過質量百分率 %	粗礫分 %		0.0
ふる る い 分 析	75		75		中礫分 %		0.0
	53		53		細礫分 %		0.0
	37.5		37.5		粗砂分 %		0.2
	26.5		26.5		中砂分 %		1.8
	19		19		細砂分 %		25.7
	9.5		9.5		シルト分 %		55.4
	4.75		4.75		粘土分 %		16.9
	2	100.0	2		2mm ふるい通過質量百分率 %		100.0
	0.850	99.8	0.850		425 $\mu$ m ふるい通過質量百分率 %		99.4
	0.425	99.4	0.425		75 $\mu$ m ふるい通過質量百分率 %		72.3
	0.250	98.0	0.250		最大粒径 mm		2.00
	0.106	79.4	0.106		60% 粒径 $D_{60}$ mm		0.0572
	0.075	72.3	0.075		50% 粒径 $D_{50}$ mm		0.0429
沈 降 分 析	0.0576	60.3			30% 粒径 $D_{30}$ mm		0.0155
	0.0416	49.0			10% 粒径 $D_{10}$ mm		—
	0.0270	35.8			均等係数 $U_c$		—
	0.0157	30.2			曲率係数 $U_c'$		—
	0.0112	24.5			土粒子の密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>		2.391
	0.00799	20.7			使用した分散剤	ヘキサミン酸トリウム 飽和溶液 10.0ml	
	0.00403	15.8			溶液濃度、溶液添加量		
	0.00165	13.2					



特記事項

資料編 環境モニタリング（陸生動物（コウモリ類））

---

許可証（鳥獣の捕獲等又は鳥類の卵の採取等） 環境省及び兵庫県  
コウモリ類調査結果



第 7-149 号  
平成 23 年 3 月 17 日

有効 平成 23 年 3 月 17 日から  
期限 平成 24 年 3 月 16 日まで

許 可 証

(鳥獣の捕獲等又は鳥類の卵の採取等)



近畿地方環境事務所長

住 所	奈良県北葛城郡王寺町明神4丁目15-5
氏 名 (法人の名称)	原田 正史
生 年 月 日 (代表者の名前)	昭和26年1月5日
鳥獣等の種類 及び数量	クロホオヒゲコウモリ、レンコウモリ、モリアブラコウモリ、 コヤマコウモリ、クビワコウモリ、テングコウモリ、オヒキコ ウモリ 各種50頭 計7種350頭
目 的	学術研究
区 域	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県全域 ただし、施行規則第7条第1項第7号の場所(統獵禁止地区並びに同 号のイ及びロの場所を除く。)を除く
方 法	ハーブトラップ
捕獲等又は採取 等の後の処置	皮膚組織採取、各部の計測後、標識装着し放獣
条 件	捕獲制(不明種雌雄各1頭)

自 第 90 号 有効 平成 23 年 3 月 10 日から  
平成 23 年 3 月 9 日まで  
期限 平成 24 年 3 月 9 日まで

許 可 証

(鳥獣の捕獲等又は鳥類の卵の採取等)



兵庫県知事 井戸 敏

住 所	奈良県北葛城郡王寺町明神 4-15-5
氏 名 (法人の名称)	原田 正史
生 年 月 日 (代表者の氏名)	昭和 26 年 1 月 5 日生
鳥 獣 等 の 種 類 及 び 数 量	アカネズミ、ヒメネズミ、スミスネズミ、カヤネズミ、ハクネズミ、ヤチネズミ、ヒミス ヒメミス、コウバネダマシ、ミスラモグラ、アズマモグラ、ジネズミ、モモジロコウモリ キクガシラコウモリ、コキガシラコウモリ、ユビナガコウモリ、アラコウモリ タヌキ、テン、イタチ、チョウセンイタチ、アナグマ、ノウサギ 各種 200 頭
目 的	学術研究のため
区 域	兵庫県全域 ただし、表面記載の捕獲禁止区域(1並びに法第28条第1項(鳥獣保 護区)、第34条第1項(休猟区)及び第35条第1項(特定猟具使用禁止区 域及び特定猟具使用制限区域)の区域を除く。
方 法	シャーマントラップ、筒型モグラわな、箱わな、ハーブトラップ
捕獲等又は採取 等の後の処置	研究に必要な個体は組織等採取、標本とする。 (組織採取及び標本する個体は、20頭を上限とする。) それ以外のものについては、標識を付けて放獣する。
条 件	



コウモリ類調査結果

問歩	確認個体数合計	テングコウモリ	モモジロコウモリ	キクガシラコウモリ
4	0個体	0個体	0個体	0個体
8	0個体	0個体	0個体	0個体
10	2個体	1個体	1個体	0個体
		HAM607	HAM608	
11	49個体	0個体	0個体	49個体
				HAR501 B1776
				HAR502 B1784
				HAR503 HAC0505
				HAR504 HAC0511
				HAR505 HAC0513
				HAR506 HAC0521
				HAR507 HAC0522
				HAR508 HAC0539
				HAR509 HAC0548
				HAR510 HAR202
				HAR511 HAR366
				HAR512 HAR367
				HAR513 HAR380
				HAR514 HAR381
				HAR515 HAR382
				HAR516 HAR387
				HAR517 HAR697
				HAR518 NUB1440
				HAR519 NUB1519
				HAR520
				HAR521
				HAR522
				HAR523
				HAR524
				HAR525
				HAR526
				HAR527
				HAR528
				HAR529
				HAR530
22	5個体	3個体	0個体	2個体
		HAM610		HAR550 BO171
		HAM611		
		HAM612		
合計	56個体	4個体	1個体	51個体

■ は再捕獲個体

資料編 環境モニタリング（水生生物（魚類））

---

採捕許可証 兵庫県

# 採捕許可証

住所 神戸市西区井吹台東町7丁目3-7

氏名 中外テクノス株式会社 関西技術センター

所長 笹口 秀一

1 適用除外の条項

兵庫県内水面漁業調整規則 第5条、第6条、第7条第4項、第10条

2 採捕する魚種の名称及び数量

採捕区域内に生息する全魚種計1,000尾以下。捕獲した魚類は標本(1箇所につき1種最大10個体まで)を除き、現場で同定や計測を行った後、放流する。

3 採捕の区域

川西市 田尻川2地点(別添資料参照)

4 採捕の期間

平成23年9月1日から平成23年9月30日のうち2日間

5 使用漁具及び漁法

投網、タモ網、定置網、刺網、どう、セルびん、もんどり

6 採捕に従事する者の住所及び氏名

裏面に記載

7 許可期間

平成23年9月1日から平成23年9月30日まで

8 制限又は条件

- (1) 調査以外の目的で採捕してはならない。
- (2) 調査が終了したとき及び採捕数量が許可数量に達したときは、直ちに採捕を中止して本許可証を返納しなければならない。
- (3) 調査のために保存が必要な個体以外については放流等の適切な処置をとること。

平成23年8月25日

兵庫県知事 井戸 敏 三



教示事項

- (1) 採捕終了後は採捕状況を速やかに報告すること。(同規則第11条10項)
- (2) 採捕に従事するときは本証を携帯すること。(同規則第11条9項)

資料編 環境モニタリング（陸生植物（植生））

---

植生調査票













(No. 91)

植 生 調 査 票

(調査地) 兵庫県川西市国崎字小路  
(国崎クリーンセンター周辺)

図幅 広根3 **上右**  
1:5万 下左

(地形) 山頂:尾根:斜面:上**中**下・凸・凹:谷:平地

(風当) 強**中**弱

(海拔) 240 m

(土壌) ポド性 **褐**赤・黄・黄褐色・アンド・グライ・

(日当) 陽**中陰**陰

(方位) S52E

凝グライ・沼沢・沖積・高湿草・非固岩屑・固岩屑・水面下  
(人為要因)

(土湿) 乾**適**湿・過湿

(傾斜) 24 °

(面積) 10×10 m<sup>2</sup>

緯度 N34° 55' 52.0"

経度 E135° 25' 10.6"

(階層) (高さm) (植被率%)

T1	高木層	17	90
T2	亜高木層		
S1	第一低木層		
S2	第二低木層		
H	草本層	0.6	2
M	コケ層		

(特記事項)

・草本層は貧相

(群落名) ヒノキ植林

2011 年 9 月 23 日

調査者 中尾、中村

S	%		SPP.	S	%		SPP.	S	%		SPP.
T1	90	11	ヒノキ (23.2/24.4/26.8/19.7/21.4/26.0/19.6/21.2/22.9/26.1/22.9cm)					H	1		ニシノホンモンジスゲ
									0.2		テンナンショウ属の一種
									0.01		アオツツラフジ
									0.01		チヂミザサ
									0.1		ヘビノネゴザ
									0.1		ホドイモ
									0.1		ミツバアケビ
									0.2		ハシカグサ
									0.01		イヌザンショウ
									0.5		ヤマコウバシ
									0.01		ナワシログミ
									0.01		トラノオシダ
									0.01		エゴノキ
									0.1		リョウブ
									0.1		イワヒメワラビ
									0.1		サルトリイバラ





















(No. 101)

植 生 調 査 票

(調査地) 兵庫県川西市国崎字小路  
(国崎クリーンセンター周辺)

図幅 広根3 (上右)  
1 : 5万 下左

(地形) 山頂 : 尾根 : 斜面 : 上 (中) 下・凸・凹 : 谷 : 平地 (風当) 強 (中) 弱  
(土壌) ポド性 (褐森) 赤・黄・黄褐色・アンド・グライ (日当) 陽 (中陰) 陰  
凝グライ・沼沢・沖積・高湿草・非固岩屑・固岩屑・水面下 (土湿) 乾 (適) 湿・過湿  
(人為要因)

(海拔) 205 m  
(方位) N50E  
(傾斜) 28 °  
(面積) 10×10 m<sup>2</sup>  
緯度 N34° 55' 45.9"  
経度 E135° 25' 22.4"

(階層)	(高さm)	(植被率%)
T1 高木層	11	90
T2 亜高木層		
S1 第一低木層	2	25
S2 第二低木層		
H 草本層	0.5	3
M コケ層		

(特記事項)  
・草本層は貧相

(群落名) ヒノキ植林 2011 年 9 月 28 日 調査者 中尾、中村

S	%	SPP.	S	%	SPP.	S	%	SPP.		
T1	90	16	ヒノキ (13.3/13.3/14.0/12.4/16.3/13.4/13.3/15.0/14.6/11.9/12.6/12.3/13.6/14.4/13.4/14.2cm)	S2	7	4	アラカシ	H	0.2	コバノミツバツツジ
					2	1	コバノミツバツツジ		3	ウラジロ
					4	1	ネジキ		0.2	シシガシラ
					1	1	ナツフジ		0.4	ネザサ
					5	6	シキミ		0.2	サルトリイバラ
					1	4	ヒサカキ		0.2	コバノガマズミ
					1	1	カンサイスノキ		0.2	ヒサカキ
					5	4	ヒイラギ		0.01	クスノキ
					2	1	モチツツジ		0.2	ヒイラギ
					4	1	アセビ		0.2	ソヨゴ
					1	1	ツクバネウツギ		0.5	ナツフジ
									0.3	アセビ
									0.2	シュンラン
									0.2	ツクバネウツギ
									0.01	アラカシ
									0.01	アマヅル
									0.2	ハネミノエンジュ
									0.2	ネジキ
									0.01	マルバアオダモ
									0.01	エノキ



(No. 103)

植 生 調 査 票

(調査地) 兵庫県川西市国崎字小路  
(国崎クリーンセンター周辺)

図幅 広根3 (上右)  
1:5万 下左

(地形) 山頂:尾根:斜面:上・中・(下)凸・凹:谷:平地 (風当)強 (中)弱

(海拔) 172 m

(土壌)ポド性 (褐)赤・黄・黄褐色・アンド・グライ (日当)陽 (中)陰・陰

(方位) N24W

凝グライ・沼沢・沖積・高湿草・非固岩屑・固岩屑・水面下 (土湿)乾 (適)湿・過湿  
(人為要因)

(傾斜) 26 °

(面積) 10×10 m<sup>2</sup>

緯度 N34° 56' 3.9"

経度 E135° 25' 22.4"

(階層) (高さm) (植被率%)

T1	高木層		
T2	亜高木層	8	30
S1	第一低木層	5	5
S2	第二低木層	2	3
H	草本層	1	100
M	コケ層		

(特記事項)

(群落名) クリ群落

2011 年 9 月 29 日

調査者 中尾、中村

S	%		SPP.	S	%		SPP.	S	%		SPP.
T2	30	2	クリ (16.4/26.5cm)	S1	5	1	カナクキノキ	H	90		ネザサ
									20		ニシノホンモンジスゲ
									1		チヂミザサ
									0.02		ノササゲ
									0.1		アケビ
				S2	3	2	コバノガマズミ		5		ハリガネワラビ
									0.01		ケヤキ
									1		ナツフジ
									0.1		カタバミ
									0.5		コハシゴシダ
									0.2		タニギキョウ
									0.01		ヘクソカズラ
									0.1		マタタビ
									0.2		ニガナ
									0.2		ナワシロイチゴ
									0.02		タチドコロ
									0.1		ミツバアケビ
									0.3		シシガシラ
									0.01		ノブドウ
									10		ススキ
									3		アキノタムラソウ
									0.2		ナガバモミジイチゴ
									0.2		サワハコベ
									0.1		アオイスマレ
									0.02		ナガバタチツボスマレ
									0.2		イヌコウジュ
									0.5		トウバナ
									0.2		ゼンマイ

(No. 104)

植 生 調 査 票

(調査地) 兵庫県川西市国崎字小路  
(国崎クリーンセンター周辺)

図幅 広根3 (上右)  
1:5万 下左

(地形) 山頂:尾根:斜面:上・中・(下)凸・凹:谷:平地

(風当) 強 (中) 弱

(海拔) 180 m

(土壌) ポド性 (褐)赤・赤・黄・黄褐色・アンド・グライ・

(日当) 陽 (中陰) 陰

(方位) N60E

凝グライ・沼沢・沖積・高湿草・非固岩屑・固岩屑・水面下  
(人為要因)

(土湿) 乾 (適) 湿・過湿

(傾斜) 34 °

(面積) 10×10 m<sup>2</sup>

緯度 N34° 55' 58.0"

経度 E135° 25' 23.8"

(階層)	(高さm)	(植被率%)
T1 高木層	10	90
T2 亜高木層		
S1 第一低木層	5	37
S2 第二低木層	2	32
H 草本層	0.5	5
M コケ層		

(特記事項)

(群落名) ケヤキ群落

2011 年 9 月 29 日

調査者 中尾、中村

S	%		SPP.	S	%		SPP.	S	%		SPP.
T1	50	6	ケヤキ (25.9/12.4/14.3/10.3/8.9/11.1cm)	S1	7	1	ヤブツバキ	H	2		ニシノホンモンジスゲ
					10	5	アブラチャン		0.5		シラキ
					10	1	ウワミズザクラ		0.2		ヤブムラサキ
	10	1	ケケンボナンシ (9.1cm)		5	1	イヌガヤ		0.4		ウラジロウツギ
					5	1	リョウブ		0.7		チヂミザサ
	10	1	エゴノキ (10.0cm)	S2	7	2	アブラチャン		0.5		アオツツラフジ
					4	1	イヌガヤ		0.2		アラカシ
	30	1	マタタビ		7	2	ヤブツバキ		0.2		サルトリイバラ
					8	5	ムラサキシキブ		0.2		イノモトソウ
					3	1	ハンショウヅル		0.2		イヌツゲ
					3	2	コバノガマズミ		0.5		ヤマヤブソテツ
									0.2		ベニシダ
									0.5		クマワラビ
									0.2		ホドイモ
									0.5		カヤ
									0.2		アブラチャン
									0.01		ヤマムグラ
									0.01		ハンショウヅル
									0.01		マタタビ
									0.2		コクサギ
									0.01		キツタ

(No. 105)

植 生 調 査 票

(調査地) 兵庫県川西市国崎字小路  
(国崎クリーンセンター周辺)

図幅 広根3 (上右)  
1:5万 下左

(地形) 山頂:尾根:斜面 (上) 中・下・凸・凹:谷:平地

(風当) 強 (中) 弱

(海拔) 185 m

(土壌) ポド性 (褐森)・赤・黄・黄褐色・アンド・グライ・

(日当) 陽 (中陰) 陰

(方位) N82E

凝グライ・沼沢・沖積・高湿草・非固岩屑・固岩屑・水面下  
(人為要因)

(土湿) 乾 (適) 湿・過湿

(傾斜) 12 °

(面積) 10×10 m<sup>2</sup>

緯度 N34° 55' 51.1"

経度 E135° 25' 27.1"

(階層) (高さm) (植被率%)

T1 高木層 14 90

T2 亜高木層

S1 第一低木層

S2 第二低木層

H 草本層 1 20

M コケ層

(特記事項)

・シカの食痕あり (ネザサ多数)

(群落名) ヒノキ植林

2011 年 9 月 29 日

調査者 中尾、中村

S	%		SPP.	S	%		SPP.	S	%		SPP.
T1	90	20	ヒノキ (18.4/14.9/19.1/19.3/20.1/12.9/20.7/15.2/26.5/12.5/22.0/11.7/17.1/16.0/13.3/23.2/18.1/16.4/16.7/17.8cm)					H	3		ネザサ
									0.01		シハイスミレ
									0.01		ササユリ
									0.1		ヘクソカズラ
									0.01		ミツバアケビ
									0.2		サルトリイバラ
									0.3		ヤブムラサキ
									0.5		リョウブ
									5		ナツフジ
									0.2		チヂミザサ
									1		クスノキ
									0.1		ノブドウ
									0.01		カスミザクラ
									0.01		エドヒガン
									0.1		イヌツゲ
									0.2		アオツツラフジ
									0.1		ネズミモチ
									0.01		コナラ
									0.2		エゴノキ
									0.2		コバノミツバツツジ
									5		シキミ
									1		アセビ
									0.3		ヒイラギ
									0.1		ハネミノエンジュ
									0.1		アカメガシワ
									0.1		ダンドボロギク
									2		ヒカゲスゲ
									0.2		ススキ











資料編 環境モニタリング









---

写真集

【底質】平成 23 年 12 月 7 日採取

W-12		
W-13		
W-5		
W-4		

【底質】平成 24 年 2 月 17 日採取

W-12		
W-13		
W-5		
W-4		

【コウモリ類】平成 24 年 3 月 16 日調査



調査風景



キクガシラコウモリ



モモジロコウモリ



テングコウモリ

【ヒメボタル】平成 23 年 6 月 30 日調査



調査風景



飛翔状況



確認個体



調査時の状況（左：施設南側、右：施設西側）

【魚類】平成 23 年 9 月 12～13 日調査

	
調査地点（上流側）	調査地点（下流側）
	
調査風景（投網）	調査風景（タモ網）
	
確認種（オイカワ）	確認種（カワムツ）
	
確認種（モツゴ）	確認種（カマツカ）

【魚類】平成 23 年 9 月 12～13 日調査



確認種 (スゴモロコ属の一種)



確認種 (ギギ)



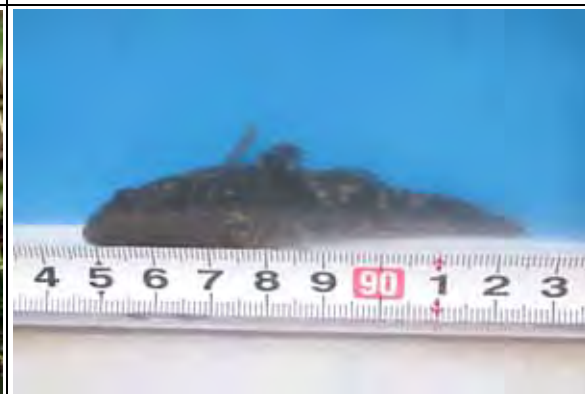
確認種 (ナマズ)



確認種 (アユ)



確認種 (オオクチバス)



確認種 (ドンコ)




確認種 (ウキゴリ)



確認種 (カワヨシノボリ)

【植生】平成 23 年 9 月 22 ~ 23 日、28 ~ 29 日調査

	
調査風景	調査地点 ( 86 )
	
調査地点 ( 87 )	調査地点 ( 88 )
	
調査地点 ( 89 )	調査地点 ( 90 )
	
調査地点 ( 91 )	調査地点 ( 92 )



【植生】平成 23 年 9 月 22 ~ 23 日、28 ~ 29 日調査



調査地点 ( 93 )



調査地点 ( 94 )



調査地点 ( 95 )



調査地点 ( 96 )



調査地点 ( 97 )



調査地点 ( 98 )



調査地点 ( 99 )



調査地点 ( 100 )

【植生】平成 23 年 9 月 22～23 日、28～29 日調査

	
調査地点 ( 101 )	調査地点 ( 102 )
	
調査地点 ( 103 )	調査地点 ( 104 )
	
調査地点 ( 105 )	調査地点(防鹿柵設置箇所)
	
ニホンジカ食痕 (リョウブ:樹皮剥ぎ、角研ぎ)	ニホンジカ食痕(イヌツゲ:萌芽枝)

【植生】平成 23 年 9 月 22～23 日、28～29 日調査

	
ニホンジカ食痕（モチツツジ）	ニホンジカ食痕（ヒイラギ）
	
ニホンジカ食痕（サルトリイバラ）	ニホンジカ採食圧の影響（貧相な草本層）
	
ニホンジカ不嗜好種 （イワヒメワラビ、タケニグサ）	ニホンジカ不嗜好種 （オオバノイノモトソウ）
	
ニホンジカ不嗜好種（ミカエリソウ）	ニホンジカ不嗜好種（ゴマギ、マツカゼソウ）

【クモノスシダ】平成 23 年 9 月 22 日調査



生育箇所（クモノスシダ1、クモノスシダ2）



生育箇所（クモノスシダ3）

【クモノスダ】平成 23 年 9 月 22 日調査



生育状況



胞子をつける細長い葉と栄養繁殖で発生した小さな丸い葉

【その他】特記事項（里山林整備を行う際、利活用できる資源及び留意事項）



【ムササビ】生息痕（樹皮ささくれ）が施設南側の谷部に広くみられ、生息の可能性が高い。



【カラクサシダ】植生調査 41 付近



【エビネ】植生調査 49 付近



【オオヒナノウスツボ】植生調査 91 付近



【縦穴】植生調査 37 付近



【スズメバチの巣】台場クヌギ、ヤマザクラ

ムササビ：兵庫県レッドデータブック2003：Bランク  
 カラクサシダ：レッドデータブック近畿2001：準絶滅危惧種  
 エビネ：兵庫県レッドリスト2010：Cランク  
 オオヒナノウスツボ：兵庫県レッドリスト2010：Cランク

縦穴：既往調査報告書に掲載されていない、間歩もしくは空気穴と思われる縦穴が存在している。遊歩道の整備等においては、注意喚起、立ち入りを禁止する看板等の設置が必要。

スズメバチ：本年度は、台場クヌギ及びヤマザクラの根元にて巣を確認。遊歩道の整備等においては、注意を促す看板等の設置が必要。